

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-SH7-A612A/J	Rev.	第1版
題名	命令フェッチによるアドレスエラー例外処理の注意事項		情報分類	技術情報	
適用製品	R5S72060W200FPV R5E72060W200FPV	対象ロット等 全ロット	関連資料	SH7206 グループハードウェアマニュアル Rev.2.00 (RJJ09B0183-0200)	

SH2A の上記製品において、命令フェッチによるアドレスエラーが発生した場合の注意事項を追記しましたのでご連絡いたします。「注」の記述が追記した記述です。

4.3.2 アドレスエラー例外処理

アドレスエラーが発生すると、アドレスエラーを起こしたバスサイクルが終了し*、実行中の命令が完了してからアドレスエラー例外処理が開始されます。このとき、CPU は次のように動作します。

1. 発生したアドレスエラーに対応する例外処理サービスルーチンの開始アドレスを、例外処理ベクタテーブルから取り出します。
2. ステータスレジスタ (SR) をスタックに退避します。
3. プログラムカウンタ (PC) をスタックに退避します。退避する PC の値は、最後に実行した命令の次命令の先頭アドレスです。
4. 例外処理ベクタテーブルから取り出した例外処理サービスルーチンの開始アドレスにジャンプして、プログラムの実行を開始します。このときのジャンプは遅延分岐ではありません。

[注] * データ読み出し/書き込みによるアドレスエラー時。命令フェッチによるアドレスエラーは、上記動作3終了までにアドレスエラーを起こしたバスサイクルが終了しない場合、当該バスサイクル終了まで、CPU は再度アドレスエラー例外処理を開始します。

以上